

○令和8年1月8日 環境建設委員会の第3回現地視察を行いました。

県議会の各委員会では、閉会中の委員会活動として、毎年テーマを定めて現地視察を行い、関係者から御意見等を伺っております。

環境建設委員会では、今年度のテーマを「かがわの里海づくりについて」「道路・都市計画行政について」と定めており、今回3カ所の現地視察を行いました。

まず、東かがわ市の交通渋滞の緩和と交通安全の確保を図り、白鳥大内インターチェンジへのアクセス強化を目的として整備されている国道11号大内白鳥バイパス（東かがわ市土居）の工事現場を訪問し、事業の進捗について説明を受け、質疑を行いました。



次に、坂出北インターチェンジ（フルインター化）（坂出市常盤町）の工事現場を訪問し、高速道路網における四国方面へのアクセス性向上を目的とした事業の進捗状況について説明を受けた後、現場の視察を行いながら質疑を行いました。



最後に、四国地方整備局高松港湾・空港整備事務所 海洋環境・防災課（坂出市入船町）を訪問し、瀬戸内海で漂流するゴミや油を回収する海洋環境整備事業について説明を受け、質疑を行った後、海面清掃兼油回収船「美讃」船内の視察を行いました。

